

## 2016 年度(平成 28 年度) 年間活動報告

### 文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」において「A」評価を受ける！

平成 22 年 4 月に医師・医学生支援センターとして発足した当センターも 8 年目を迎えました。平成 25 年から推進してきた文部科学省科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の評価が 3 月 23 日に公表され、5 項目オール「a」の「A」評価をいただきました。

今後は、積み重ねた成果をさらに伸ばしていけるよう、工学院大学、IT ベンチャー企業 Dr.JOY と連携し同じ文部科学省の補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」事業の採択を目指します。

また、支援センターでは平成 28 年 10 月に設置されたダイバーシティ推進本部で法人人事部とともに事務局を担っています。次の 100 年へ新病院建設という目標に向かって漕ぎ出した本学の、全ての構成員にとって働きやすい職場となるよう、支援センターもより広く多くの施設や部署と連携し活動してまいります。

(医師・学生・研究者支援センター長・教授 大久保ゆかり)

### 相談窓口

- ・年間延べ相談件数 47 件（研究相談含む）
- ・メンター研修会の実施（H28.12.20「相談場面のコミュニケーション」）

### 就業継続・復職支援

- ・現在の病院助教医師、新規に病院助教申請をする医師との面談  
(常勤に復職：3 名、新規病院助教：4 名)
- ・1 月にベーシックプログラムを開催（皮膚科と糖尿病・代謝・内分泌内科の講義）  
→5 名の医師が参加

### 学生・研修医支援

- ・医学科学生および研修医に対して、授業やランチョンセミナーにおいてキャリアを考える機会の提供
- ・講演会（BSL 統合講義）の実施（昭和大学病院院内学級担任 副島賢和准教授、鹿島アントラーズチーフチームドクター 山藤崇先生、冠動脈インターベンション専門 総合東京病院 塚原玲子先生）

### 調査・広報

- ・「働き方改革」アンケートの実施
- ・支援センターNEWS の発行（年 3 回）

### 育児支援

- ・ファミリーサポート利用実績（年間 627 件）
- ・介護支援策の検討

## 研究者支援

- ・ライフイベント中の研究者に研究補助者を配置（のべ 20 名、うち男性 3 名）
- ・研究力アップ研修や相談事業、女性研究者交流会の実施、科研費申請支援
- ・学外・国際メンターの新設